

# 彩湖に「東京オリンピック・ボート競技」を誘致するための署名のお願い



2016年3月7日

彩湖に東京オリンピック・ボート競技を誘致する会  
代表 野澤 茂雅

## 【2020年東京オリンピック・ボート競技会場未確定】

2020年、東京オリンピックが東京地域を中心として開催されようとしていますが、ボート競技会場につきましては、残り5年を切った現在におきましても未だに最終確定に至っておりません。

2013年の五輪招致の段階で東京湾の「海の森水上競技場」会場整備費は69億円とされ、決定後の見直しで1,038億円となり、2014年秋の再見直しで491億円となりました。

このように整備費がいろいろと変遷するのには、莫大な建設利権が絡んでいるのかも知れませんが、それ以上に、夏の強風・荒波・赤潮・水質悪化・飛行機の騒音・見込めない大会後の利用…等さまざまな問題を抱えていることにより、世界のトップレベルの選手が、本当にトップレベルの実力を出し切れるのか、そして、世界中から来訪する関係者・観戦者の方々に真のおもてなしができるのか、疑問が残ります。

## 【彩湖に会場を誘致しよう】

埼玉県戸田市には、1964年の東京オリンピックにてボート競技会場となった「戸田漕艇場（戸田ボートコース）」があり、今でも日本のトップレベルの選手たちや、大学・企業のボート部の選手たち、そして私たち市民も日々活用しています。ただ、残念ながら、戸田ボートコースは6コース+回漕1コースとなっており、現在の国際規格8コースに満たず、オリンピック競技そのものが開催できません。改装して8コースにしたいとも、土地や道路の関係で幅を広げることができず、現実的には無理です。

そこで、浮上したのが「彩湖」案です。荒川の調節池「彩湖」は、晴海の選手村から約20km、前回東京オリンピックのレガシーである戸田ボートコースにも近く、全長約2,120m必要とされる競技コースを十分に確保できます。整備費も50億円程度で可能との試算ができています。

戸田ボートコースの大学ボート部など約30団体で構成する監督会も、東京湾の現地視察等を経て、客観データを付し、「彩湖がふさわしい」との意見を上申していますが、これまでそれらの声が無視され続けています。

もし彩湖がオリンピック会場となれば、県民・市民の“気持ち”としても、“経済的”にも、より豊かになり、真に世界に誇れる「ボートのまち戸田」になっていけるのではないのでしょうか。

さらに、オリンピック大会後の会場利用方法も、彩湖ならば明確です。一流選手の一流の練習場となることは当然ですが、未経験者を含めた一般の多くの方がボート・カヌーに触れる絶好の場となり、水辺のスポーツの発展、そして、市民の憩いの場としても活用の幅は大きく広がります。

## 【署名にご協力ください！】

最終結論は、東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会に委ねるしかありませんが、今ここで、市民の皆様の勇気ある署名活動を行うことにより、少しでもその可能性を広げて、少しでも実現に寄与できればと考えております。皆様のほんの1分間のサインでそれが実現するかもしれません。ぜひ一緒に盛り上げていきましょう！！

＜署名用紙＞ 団体・個人から配布します。またはWEBサイトからダウンロードしてください。

<http://www.saiko-rowing-sports.com/>

＜回収場所＞ \*駅等での署名活動時に回収いたします。

\*郵送でも受け付けています。〒335-0023 埼玉県戸田市本町1-21-20-1304

彩湖に東京オリンピック・ボート競技を誘致する会 宛

＜ご記入に際して＞ 自筆にてご記入ください。署名には、年齢や居住地の制限はありません。

また、ご住所が同一であっても「〃」を使わずご記入ください。

＜連絡先＞ E-Mail : [info@saiko-rowing-sports.com](mailto:info@saiko-rowing-sports.com)

＜WEB署名＞ <https://goo.gl/bzkgVh>



彩湖会場になれば、数週間に渡り世界のトップレベルの選手が参加して、ボート競技の祭典が展開されます。私たちの極身近なところでオリンピック・パラリンピックが開催され、それを観戦できることは、「ボートのまち戸田」の市民としてこの上ない喜びです。考えるだけでワクワクします。選手がいかにかにすべての力を出し切るか、見ごたえは限りなく大きく、自身との戦いに挑む勇士との感動を共有したいものです。 <彩湖に東京オリンピック・ボート競技を誘致する会/野澤茂雅・白井彰広・和田博>

この署名活動を経て、再度、彩湖への誘致を上申してもなお、海の森での開催を最終決定するかもしれません。でも、仮にそうならなかったとしても、今後、彩湖を整備すれば、オリンピックのキャンプ地としても、そして何より、市民・県民の水辺のスポーツ会場として、有意義に活用できることとなります。私達は何の後ろ盾もない一市民ですが、皆様の静かなる声を集約できるとすれば、それをいろいろな方向に大きく増幅させることができるかもしれません。